

# 文化財調査報告書

調査日：平成24年8月27日

- 1 種 別 県指定天然記念物
- 2 名 称 軍荼利山植物群落
- 3 指 定 年 月 日 昭和32年1月17日(平成9年3月21日追加指定)
- 4 所 在 地 一宮町
- 5 所 有 者 宗教法人 東浪見寺

## 6 調査までの経緯

軍荼利山は標高75mの山塊で九十九里平野に面している。気候は温暖で降水量も多く、房総半島で南部の湿った環境に成立する自然林スダジイ-ホソバカナワラビ群集の典型的な森林である。軍荼利山に位置する東浪見寺は古くから信仰の対象となり、周囲に広い森林を残す結果となっている。かつては、漁師たちが海で位置を知るために軍荼利山を目印として使ったという。

森林はスダジイ、アカガシ、タブノキなどからなり林床にはホソバカナワラビ、フウトウカズラ、イズセンリョウ、ヤブコウジ等が生えている。北西側は、中腹から地下水が染み出し、湿潤な環境となっており、カツモウイノデをはじめ、暖地性のシダ類が数多くみられる。また境内には、県レッドリストで一般保護生物に区分されているハイハマボッサが生育している。

今回の調査は9年度の追加指定時の調査以来、15年が経過したため、植物群落の状況やシダ植物等の生育状況、所有者等による管理状態を確認するために行われた。

## 7 現状及び取り扱いの留意事項

### <現状>

県天然記念物の解説板は一宮町が近年設置し直しており、良好な状態だった。

森林は、以前と大きな変化はないと考えられ、スダジイを主体とした森林が広がり、北側斜面にはタブノキが多くみられた。林床には、ホソバカナワラビ、イズセンリョウ、フウトウカズラなどの湿った環境を指標する植物が多く、林の中の湿度が十分に保たれ、良好な状態であることが分かる。森林の高木は、スダジイ、アカガシ、タブノキ、カゴノキ、モチノキなどから構成されており、

特に平成9年に追加指定された東浪見寺の南にあるピーク周辺の森林は、自然林として十分発達した状態である。林内では暖地性のつる植物であるサカキカズラやキジョラン、寄生植物であるオオバヤドリギを確認した。その一方で、かつての報告にあったリンボク（千葉県重要保護生物）の確認はできなかった。また、過去に、北部斜面にある竹林の拡大が懸念されていたが、今回もスダジイ林内にマダケが進入している部分が見られた。

シダ類については、北西斜面を中心に暖地性のカツモウイノデ、ノコギリシダ、ヘラシダ、クリハラン、ハチジョウカグマ、マツザカシダが良好な状態で生育していることを確認できた。

境内にはハイハマボッサが群落をなしていたが、従来境内で見られたコヒロハハナヤスリは見つけることができなかった。境内はやや草本が多くみられたもののハルジオンなど越年生植物が多く、定期的な清掃などの管理がなされていることが推測された。一宮町教育委員会によれば、祭り、盆、正月などに整備が行われているとのことであった。

今回の調査では、短い時間ではあるが野生動物の痕跡も搜索したが、アナグマやイノシシなどの活動の証拠は見られなかった。また、茂原市で生息地が国指定天然記念物に指定されているヒメハルゼミの生育地ともなりうるので、その抜け殻も探索したが発見には至らなかった。

#### < 取り扱いの留意事項 >

森林の状況は林冠を構成するスダジイに部分的な枝枯れ症状が見られたものの、おおむね良好である。さしあたり、植物群落に対する脅威は竹林の拡大のみである。スダジイ林に侵入したタケ類は早めに伐採することが必要である。また、かつて、大木が根本から倒れ、斜面崩壊をもたらしたことがあったとの情報から、社殿や人身に危険が見込まれる場合には、天然記念物を構成する樹木であっても早めに対処したほうがよい。

軍荼利山植物群落の湿度が保たれている背景には、指定地域が堰に囲まれていることも関係しているかもしれないので周辺環境にも注意を配る必要があるかもしれない。

現在、指定地域に鳥獣害は見られないが、房総半島ではハクビシンによる建物に対する害やイノシシによる群落に対する害が広がっているため、関係者から鳥獣の出没に関する情報を集めておくとよい。

林内はスダジイの大木が複数あり、フクロウなどの繁殖地になりうる。また、周辺の堰は水鳥の活動場所になっている。文化財指定理由とは異なるが、周辺の生態系の一部として、軍荼利山植物群落の果たす役割は大きいものと考えられる。そのような視点で、天然記念物に指定された群落の価値を見直すことも大切である。



写真1 参道入り口に立つ解説板

写真2 境内に咲くハイハマボッサ→  
かつて一宮海岸にあり県指定天然記念物に指定されたが消失したため解除された。



←写真3 東浪見寺南側ピークに成立したスダジイ林内

写真4 スダジイ林に侵入したマダケ→



←写真5 北西部斜面に生育するカツモウイノデ